



2022年11月28日

各 位

会 社 名 株式会社 ワ ッ ツ
代 表 者 名 代表取締役社長 平岡 史生
(コード番号：2735 東証プライム)
問 合 せ 先 常務取締役経営企画室長 森 秀人
電 話 番 号 06-4792-3236

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2021年12月20日にプライム市場の上場維持基準への適合に向けた計画を提出し、その内容について開示しております。2022年8月時点における計画の進捗状況等について、下記のとおり作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準への適合状況及の推移及び計画期間

当社の2022年8月時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況はその推移を含め、以下のとおりとなっており、「流通株式時価総額」については基準を充たしておりません。当社は、下表のとおり、2024年8月期までに上場維持基準を充たすために、引き続き各種取組を進めてまいります。

		株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の適合状況及びその推移	2021年6月末時点 (移行基準日)	21,484人	84,167単位	77.4億円	60.2%
	2022年8月末時点	21,445人	72,090単位	52.7億円	51.8%
上場維持基準		800人	20,000単位	100.0億円	35.0%
当初の計画に記載した計画期間				2024年8月末	

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況表等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の実施状況及び評価

プライム市場上場維持基準への適合に向けた取組の実施状況及び評価については、添付の「上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況」に記載のとおりです。

以 上



株式会社ワッツ

(2735 東京証券取引所プライム市場)

上場維持基準の適合に向けた 計画に基づく進捗状況について

2022年11月28日

1. 上場維持基準への適合状況及び計画期間



		株主数	流通 株式数	流通株式 時価総額	流通株式 比率
当社の 適合状況 及び推移	2021年6月末	21,484人	84,167単位	77.4億円	60.2%
	2022年8月末	21,445人	72,090単位	52.7億円	51.8%
上場維持基準		800人	20,000単位	100.0億円	35.0%
適合状況		○	○	×	○

※ 当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況表等をもとに算出を行ったものです

✓ 2024年8月期までに上場維持基準を充たすために、各種取組みを進めてまいります

2.プライム市場への適合に向けた基本方針



【基本方針】

- ✓ 現在の三位一体のビジョンを進化（深化）させ、グループ全体の成長力を回復させる
- ✓ ワッツグループ中期3ヵ年計画（2022年8月期～2024年8月期）を設定し、その完遂によって企業価値向上に取り組む



3. 計画策定時の課題及び具体的な取組内容



【課題】

- ✓ 成長戦略が明確に見えにくいため、市場からの適正な評価が得られていない

【取組み】

- ✓ 中期3カ年計画の推進
- ✓ 100円均一以外のフォーマットと100円ショップ事業のコラボレーションによる新しいフォーマットを作り上げる
- ✓ IR活動の一層の強化を通じた投資家への訴求の推進
- ✓ 結果として、小売業界の平均PERである25倍に持ち上げる
(2022年8月末時点の当社PERは12.4倍)

4.中期3カ年計画



	過去3期平均 (実績)	2024年8月期 (計画)
売上高	539.4億円	700.0億円
EBITDA	19.7億円	31.0億円
営業利益	14.7億円	21.0億円
当期純利益	8.4億円	11.0億円
100円ショップ [®] 事業 売上高シェア	91.1%	86.8%

※ 為替の動向、ウクライナ情勢や資源・原材料価格の高騰等の先行きが不透明なため、中期3カ年計画の2024年8月期（計画）については、据え置いております。

今後、見通しが分かり次第、必要に応じて開示いたします。

5.中期3カ年計画達成に向けた施策の進捗状況①



【国内100円ショップ事業（1）】

- ✓ 音通エフ・リテールの買収（2021年10月1日子会社化完了）とPMI（システム、発注、人事、管理業務等）の早期完了による売上と収益への貢献の実現
 - ～今後は早期のPMI完了に取り組む
 - ➡ 雑貨商品マスタ・仕入単価の統一、発注機の入替え、店舗オペレーションや人事・管理業務等の統合については完了。食品発注システム、POSレジの統合については未了であり、2023年8月期を目途に完了を目指す
 - ➡ 2022年9月1日付で当社連結子会社のワッツ東日本販売、ワッツ西日本販売へ吸収

6.中期3カ年計画達成に向けた施策の進捗状況②



【国内100円ショップ事業（2）】

- ✓ 更なる成長のためのM&Aも検討
➔ 当社とシナジーが見込める案件があれば検討していく
- ✓ 委託型店舗の出店強化
～出店余地は十分にあり、高い収益性が見込めるため、今後年間200店舗の出店を継続
➔ 2022年8月期は音通エフ・リテールの統合作業を優先したため、委託型の出店は172店舗に留まる。2023年8月期の出店計画も200店舗としており、達成可能と考える

7. 中期3カ年計画達成に向けた施策の進捗状況③



【国内100円ショップ事業（3）】

- ✓ 国内他業態（ブォーナ・ビータ、Tokino:ne、リアル）とのコラボ出店を活用し、競合他社に打ち勝つ店舗を展開する
 - ➡ 店舗フォーマットはまだできておらず、2024年8月期中の出店を目指す。なお、2022年10月、100円ショップ、ブォーナ・ビータ、Tokino:neの3ブランドのコラボ店舗を出店しており、グループブランドのミックス型店舗の試行を進めている
- ✓ 2022年8月期より基幹システム（入れ替え実施済）を活用した、セルフレジ、自動発注システムの本格稼働を通じた生産性の向上による収益性の改善。2022年8月期中にセルフレジを100店舗へ導入
 - ➡ 自動発注システムはテナント型店舗へ概ね導入完了（旧音通エフ・リテールの店舗除く）。2022年8月期末のセルフレジ稼働店舗は58店舗に留まる。現金・キャッシュレス決済対応のフルセルフレジへのバージョンアップを含め、導入を進め生産性の向上を図っていく

8.中期3カ年計画達成に向けた施策の進捗状況④



【国内その他事業】

- ✓ グループECチャネルの抜本的強化による、売上規模の拡大
 - ➡ 2021年9月より開始。取扱いアイテム数13,000点以上であり、ブォーナ・ビータ、Tokino:neの取扱いもスタート。売上規模の拡大に引き続き取り組んでいく
- ✓ 100円ショップと連携した店舗フォーマットの開発による規模・収益の底上げ（2022年8月期）
 - ➡ 2022年8月期末、ブォーナ・ビータのコーナー展開を6店舗で実施。2022年10月に、ブォーナ・ビータ、Tokino:neの両ブランドを導入した店舗を展開
- ✓ 既存事業とのシナジー創出が可能なM&Aによる事業領域の拡大も視野
 - ➡ 引き続き検討を進めていく

9. 中期3カ年計画達成に向けた施策の進捗状況



【海外事業】

- ✓ ウィズコロナ/アフターコロナ環境下での既存の事業の一層の伸長
海外パートナーとの共同事業の構築（2024年8月期）
- ✓ 既存の経営資源を活かした異業種とのコラボビジネスの構築
（含むM&A）
➡引き続き検討を進めていく

10. 上場維持基準充足に向けた取組みの進捗状況①



- ✓ ワッツグループ中期3カ年計画達成による株価の上昇
 - ➔ 旧音通エフ・リテール店舗の商品入替えが進んでいくことで、今後、収益改善・統合効果が現れてくると考える。また、POSレジ統合の完了次第、自動発注システムを導入し更なる効率化を図ることが可能であり、業績拡大へつながると判断している。株価も業績に連動し上昇するものと考え
- ✓ 流通株式数の増加による株式売買の活性化
 - ・大口株主の保有株式一部売却等の交渉を進め、流動性向上を図り、売買代金の増加に繋げる→流通株式比率10%増加を目標
 - ・自社株取得及び消却も検討
 - ➔ 2022年2月、自己株式60,000株の消却を実施
 - ➔ 流通株式比率は、初年度は流通株式に含んで計算されていた「役員の特権利害関係者」が除外されたことで、60.2%→50.8%と8.4%低下したが、今後大口株主との交渉を進めることで、流通株式比率10%超の増加は可能と判断している

11. 上場維持基準充足に向けた取組みの進捗状況②



✓ IR活動の推進強化

・投資家との積極的な対話の推進による当社株の既存の機関投資家に加え、新規機関投資家の評価向上

～第二四半期及び本決算発表後を中心に、国内及び海外機関投資家・アナリストとの面談（電話、オンライン等）を年間60件程度実施しており、今後も新規先を含め継続的にアプローチしていく

➡第二四半期及び本決算発表後の決算説明会の実施、投資家・アナリストとの面談を継続的に実施している。また、HP上でサステナビリティ情報の開示を行う等、更なる情報発信に努めている

12. 流通株式時価総額100億円充足のための算定根拠



- ✓ 小売業界の平均**PER25倍**とする
- ✓ 2024年8月期（計画）の親会社株主に帰属する当期純利益額の11億円をベースとして、時価総額を算定

$$11\text{億円} \times 25\text{倍} = 275\text{億円}$$

- ✓ 当社2022年8月期の流通株式比率51.8%を用いて流通株式時価総額を算定

$$275\text{億円} \times 51.8\% = 142.4\text{億円} > 100\text{億円}$$

本計画を達成すれば、流通株式時価総額100億円達成の可能性は十分高いと判断（仮に**PER20倍**としても113.9億円）



本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行っていただきますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではないことをご認識いただくようお願い申し上げます。

説明内容に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

お問い合わせ先：

株式会社ワッツ 常務取締役経営企画室長 森 秀人

e-mail：ir@watts-jp.com

TEL：[06-4792-3236](tel:06-4792-3236)